

近畿本部化学部会 10 月例会講演会のご案内（化学部会）

主催：日本技術士会近畿本部 化学部会

化学部会 10 月例会は毎年 10 月に開催します。今回のテーマとしてマテリアルイノベーションを取り上げました。持続可能な開発目標（SDGs）の達成には高分子材料が重要な役割を果たすと予想されます。今回は(地独)大阪産業技術研究所 森之宮センター 主任研究員 博士 川野真太郎様をお招きして、『可逆性動的架橋高分子の応用材料開発：自己修復・リサイクル性・光機能性など』のご講演をお願いいたしました。

皆様のご参加をおねがいします。

1. 日時：2024 年 10 月 5 日(土) 14:30～16:30
2. 場所：日本技術士会近畿本部 会議室（定員 15 名 web50 名 資料のみ可）
（〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町 1-9-15 近畿富山会館ビル 2 階）
3. 開会挨拶：近畿本部化学部会長 伊藤雄二氏 14:30～14:40
4. 基調講演： 14:40～16:20

演題：『可逆性動的架橋高分子の応用材料開発：自己修復・リサイクル性・光機能性など』

講師：川野真太郎氏（地独）大阪産業技術研究所 森之宮センター主任研究員 博士

要旨：近年、高分子材料の耐久性や寿命を改善する新たな革新的アプローチとして、可逆性の動的架橋結合と呼ばれる相互作用を高分子骨格中に組み込んだ新たな機能性高分子材料の創製が行われている。本講演では、演者らが取り組んできた、動的架橋系として、1)非共有結合性のホスト-ゲスト超分子化学に基づいた動的架橋高分子や、2)高分子主鎖に空間的に結合した可動性架橋高分子について概説する。これらの技術は、可逆性を有するため、外部刺激に応答して材料自らが修復する自己修復性や、可逆的に架橋部位を解体・回収・再利用可能なサーキュラーポリマーとして機能することから、材料の長寿命化に加え、環境低負荷型社会の実現に向けた廃棄物の削減にも寄与できる。また、本講演では、演者らが最近取り組んでいる、3)有機色素修飾高分子を用いた塗膜の発光特性について、光捕集材料を見据えて紹介する。

5. 閉会と事務連絡： 16:20～16:30
6. 交流会開催 17:00 から 1 時間程度

講師を囲み、交流会を行います。参加ご希望の方は google フォームに記入願います

申込方法：以下の URL より 9/30 までに申し込みください。参加費の振込は下記銀行口座です。

<https://forms.gle/3tNj9soDCZRgMEnd9>

参加費：(資料代)：会員 1,000 円、非会員 2,000 円、近畿本部協賛団体(化学部会)は無料
振込先：ゆうちょ銀行「日本技術士会近畿本部化学部会」14310-83365591

ただし、MOCS 研会員：三井住友銀行園田支店「日本技術士会近畿本部化学部会」422-5242598

資料送付等：一括メール送信方法にて、開催前にお送りします。

CPD 行事 受講証等：講義終了後に参加者にお送りします。

問合せ先：化学部会：齋藤 俊 saitoh2024@ymail.ne.jp

(当日の緊急連絡用) 090-3485-5527

以上